

令和5年度事業 事後評価・決算 事務事業マネジメントシート

令和6年6月3日作成

事務事業名	農道維持事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち『産業』	所属G	公共維持G	課長名	松村直樹
施策名	〈34〉農業の振興	担当者名	狩野久志	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2472
目的 的 象	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算 科目	会計 款 目 項	大事業 業名 中事業 業名	農道維持事業 農道維持事業
基本事業 的 象	〈097〉農業基盤の整備・保全 意 働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。		0 1 3 0 0 1 0 5 7 5 0 1		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
農道利用者	農道の適正な維持により、農産物の効率的な輸送が図られるとともに、通行の安全が確保される。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	①農道の維持管理 ②農道の除草委託 ③集落間除草受付・支払 ④池月・平成トンネル防災設備保守点検業務 ⑤農道橋点検業務
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R4年度から簡易的な維持修繕を建設部の道路維持修繕補助業務委託により実施 (建設部建設工務課 委託料へ1,620千円所管替えにより実施) R5年度から農道管理について建設部へ移管

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	63.9	66.8	63.7	63.7
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	68.4	66.5	59.5	59.5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【需用費】5,775千円 【役務費】3,833千円	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円			
【委託料】1,607千円 【使用料】4千円						
【工事請負費】7,081千円 【備品購入費】153千円 【原材料費】97千円					2,600	
合計 18,550千円					4,000	
【地方債】合併特例債		事業費計	千円	17,332	18,342	15,950
					7,331	11,331

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	適切な農道維持管理を実施し、農道環境が保たれた。
② 事業実施するうえでの課題	通行に支障となる道路法面から張り出した樹木伐採は、地域で実施される集落間除草だけでは解消できない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	通行に支障となる樹木の繁茂が著しい箇所を計画的に監視できるよう箇所一覧図が必要となる。